



Rotary Weekly



広島空港ロータリークラブ週報

2018年11月28日発行

会長 澤井一徳 / 副会長 三好敏之 / 幹事 鶴田秀樹 / SAA 伊藤 保

事務局 三原市本郷南6丁目3-26 番地 三原臨空商工会 2階

TEL 0848-86-0986 / FAX 0848-86-0992 / E-mail h.kukorc@vega.ocn.ne.jp

例会場 広島エアポートホテル TEL 0848-60-8111

2018-19年度

国際ロータリー・テーマ
BE THE INSPIRATION

インスピレーションになろう



12月 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31

例会

例会

休会

Xmas 例会

休会

本日のプログラム (11月28日)

がん予防推進委員会 楠部 滋 委員
「がん と がん検診」

次のプログラム (12月5日)

日本政策金融公庫 尾道支店長 橋本 恒己 様
「最近の経済・金融情勢」

第1132回 2018年11月14日 例会記録

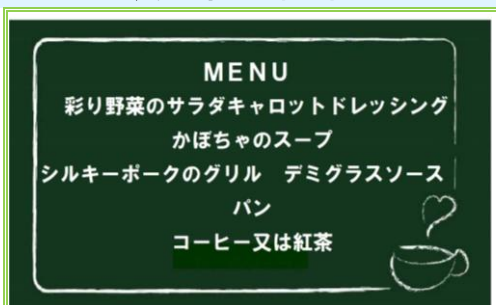
点 鐘 澤井会長

国歌斉唱 ロータリーソング「四つのテスト」

出席報告

	会員数 名譽会員	出席者	メイク	欠席 (免除)	出席率
本 日 (11/14)	29 1	22 1	1	5 1	82.14
メイク	灰谷				
前々回 (10/31)	28 1	15 1	5	6 2	76.92
メイク	河井、重森、武野、楠部、乗越				

食事時間



入 会 式

小島勘次(おばた かんじ)さん

(株)エムセック 代表取締役
三原市城町 1-125

元会員

(2002.7.3~2011.1.31 在籍)



本日はありがとうございます。再入会させていただきます。皆様のご指導ご鞭撻により次の入会がないようにしていきたいと思っておりますのでどうぞよろしくお願いいたします。久しぶりに来ると、例会場が結構遠く、沼田川が広がったと感じました。(豪雨災害後の整備の関係)

今回の入会につきましては、川本さんと鶴田幸彦さんとお話させて頂く機会の中で、ロータリーに救われてみんな頑張っているという良い話をお聴きしました。また入会させていただく事となりました。

もうすぐ63歳、息子たちに事業継承もほぼ済み、時間に余裕が出来、新しい事をいろいろ始めたいと思っています。今回ロータリーの中で活動をさせて頂く中で、4つのテストの4番目みんなの為になるかどうかという形でビジネスをしていきたいと思っていますので改めてよろしくお願いいたします。



還 暦 御 祝

大下知男さん



会 長 時 間



12月22日に年次総会を開催する予定になっておりますが、クラブ細則で年次総会の1ヶ月前に年次総会の議長(会長)は、次年度役員候補者の使命を求めることとなっております。

候補者選定には2つの方法があり、若干の元会長と理事、役員で構成する指名委員会で推薦する方法と、出席者全員で推薦した方に承諾を得る方法があります。

例年は、指名委員会で推薦する方法で行っておりますが、今年度も同じ様に指名委員会で推薦する方法とさせていただいてもよろしいでしょうか。

全員一致の拍手で承認

理事会が指名委員会になりますので、12月の理事会で上程の承認を受け、年次総会にて皆様のご審議を賜りたいと思いますので、どうぞ宜しくお願い致します。

11月3日・4日両日のチャリティバザー大変ご苦労様でした。売上金約10万円で、堀内先生には陰ながらお世話になりました。毎年ですが、総合技術高校の生徒さんの手伝いも大変助かりました。



11月11日に因島RC50周年に鶴田幹事と共に出席させていただきました。因島RCは最高50名くらいのクラブだったそうですが、時代の流れで、現在は20名のメンバーです。大変素晴らしい式典でした。



「雨のち曇り、そして晴れ」

重森寛行様の自伝

(94歳・平成19年10月出版)

(著書 重森佳代子さん)



重森寛行様はH20.5.7(95歳)卓話をされています。

本の内容を少しだけご紹介します。

- ・大正元年生れ(1912年)私と約40年の違い
- ・7歳の時、父親が亡くなり、葬式の時別れの言葉を読み上げた
- ・8歳の時、祖父が亡くなり、一家の長となる
- ・小5の時、牛で田を鋤(す)き始め、中学卒業まで家事、農作業、勉強だけ
- ・20歳の時、貿易の商売を始める、最初はいくくも失敗
- ・23歳の時、結婚、24歳で召集令状(昭和12年)
- ・中国での戦場、死の恐怖
- ・一旦帰国も昭和20年ふたたび召集令状、広島市へ8月6日原爆、広島比治山の裏側にいた為命拾い
- ・昭和22年(34歳)木材業 365日休みなく働く
- ・昭和25年(37歳)三女佳代子誕生
- ・佳代子1歳半の時池に落ちる 半日生死をさまよう
- ・昭和30年42歳 豊栄町会議員
- ・「町のため」をモットーに働く
- ・昭和45年(57歳)町長
- ・「雇用の確保と兼業農家の育成」 10の企業誘致
- ・政治家に最も求められるのは「国民へ奉仕する心」
- ・71歳、勲5等双光旭日章受章
- ・90歳、会社を閉じる

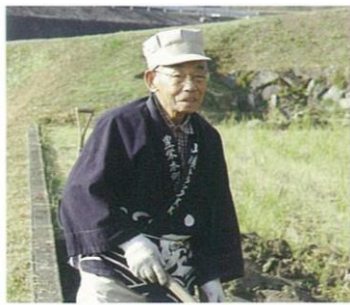


重森 寛行

終章

「二十一世紀をみることはないだろう。」
と思っていた私が、まだ生かしていただいている。人生には筆舌に尽くしがたいものが山のようにある。紆余曲折あったその一つを噛みしめながら雑駁に書き綴ってみた。もつと波乱万丈だと思っていたが、この程度かと少し落胆しているのだが、まずは「概ね良し」としなければならぬ人生だと思ふ。戦争を生き抜いたものとしては、やはり「生かされた」人生だという感じが強い。だからこそ、余計に自由に生きることができ、今を大切にしたいのである。世間の喧騒もどこ吹く風、何事にも動じないで過している。そろそろ軟着陸も考えなくてはと思いつつも、百歳まではという無謀な思いも頭をよぎっている。





▲働きづめの人生でした。



- ・ 90 歳で引退後は 100 歳まで草取りに精をだす



▲藏田市長から100歳のお祝いを拝受。

- ・ 102 歳 天寿を全う
- ・ 教育行政について「教育の乱れは国の乱れ」である
- ・ 教育とは手間暇かかるもの、忍耐強く子供たちを導いていくことが必要
- ・ 一方で、昨今のテレビは面白おかしく笑う気軽な番組が多い。もっと心を育てていく番組が出来ないものか。

清廉潔白な行動・志に脱帽です。

生れた時が私達と 30 年～50 年しか変わらないが、激動の時代をたくましく生きてこられた。非常に感銘を受けました。同じ境遇にはありませんが、改めて人生を考えるきっかけになればと思いご紹介しました。この親ありてこの子あります。素晴らしい本を出版された重森佳代子先生にお礼申し上げます。

幹 事 報 告

《配 布 物》週報1130, 1131号、卓話資料、
ロータリーの友11月号、ガバナー月信
《回 覧》野球同好会練習試合・Xmas家族例会
新年例会・4クラブ合同例会出欠表

広島県立三原高等学校
校長 三次至和 様



「22 世紀への架け橋
～未来を担う教育を目指して～」

三原高校について

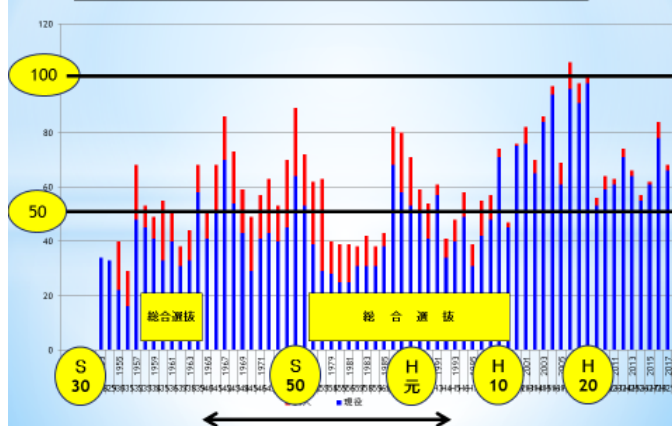
三原高校は、昭和 24 年 4 月 30 日に当時の桜南高校、明善高校、浮城高校が統合されて誕生しました。桜南高校の前身の県立三原高等女学校の創立が最も古く、大正 9（1920）年です。そこから数えて平成 32（2020）年に創立百周年を迎えます。

三原高校の歴史



地域の進学校として国内外に優秀な人材を輩出してきた学校です。学力向上・進学指導に尽力し、平成 16～20 年度には国公立大合格が 90 名を超えるという成果も上げました。

国公立大学合格者数推移



近年は、広島県教委が進める「学びの変革」に取り組んでいます。最近の進学実績は次の通りです。

最近の進学実績

	国公立大学	京都大	大阪大	九州大	北海道大	難関大	神戸大	広島大	岡山大
H21年度	53					1 近畿大	1	6	1
H22年度	60		1	1				1	3
H23年度	61	1					1	4	2
H24年度	71	1				1 東北大	1	5	
H25年度	64			1		1 一橋大	1	10	3
H26年度	55			1			1	5	3
H27年度	61		2					7	4
H28年度	78				1			4	3
H29年度	66						2	5	1

生徒は、校訓「敬心愛知 堅志力行」の下、勉学や部活動に励んでいます。卒業生が「三原高校に進学して良かったこと」として述べていることは、「地元の高校であり、近いので勉強と部活動の両立ができる」「生徒が行事を作り盛り上がる」「先生が丁寧に指導してくれる」などです。

みはら高校生議会について

三原市議会と三原青年会議所のご協力により昨年実現した「みはら高校生議会」を紹介します。これは、三原、三原東、総合技術、如水館の市内4高校から生徒7名ずつが参加し、三原市活性化案を提案するとともに、他校に対し質問し応答する形で行われました。

仁ノ岡市議会議長をはじめ現職の市議会議員の皆様のご出席の下、実際の市議会のように議場で行っていただきました。

三原高校は、生徒200人へのアンケート結果から、「10年後三原市外に住みたい」が73%、「市外に住んでも三原市に貢献したい」が43%という結果を受け、「郷土愛あふれる三原にするために、若者の三原愛を育て、三原の魅力をもっと市民に伝えたい」と考えました。そのためにイベントなどで若者が三原を盛り上げる「三原応援隊」を結成し、その支援や情報提供を提案しました。

三原高校の提案

みはら高校生議会
～ 22世紀に向けた三原人作り ～

- 1 三原応援隊の結成
- 2 三原応援隊への支援・情報提供

イベント開催でコミュニティーを拡大する
高校生・大学生によるイベント実行委員会
若者を中心とした市民が三原を盛り上げる

三原東高校から、「高校生は忙しく余裕がないのではないか」などの質問が出されました。それに対し、部活動未加入者が30%いる現実や三原を盛り上げる意欲ある人で構成すれば大丈夫であることなどを応えました。

三原東高校

「三原市の中心市街地を活性化させるために」
1 映画館などの娯楽施設を中心とした若者向けの店舗を誘致
2 立体駐車場を設ける
3 イオン三原店と地下道で結び、地下街を設ける

総合技術高校

「人材の『地産地消』
～陸海空の交通利点を生かして～」

- 1 働き口を確保するために土地を整備
- 2 三原駅と三原港を一体化する

如水館高校

「若者が住みやすい街へ
～Uターンへの後押し～」

- 1 三原城跡・隆景広場の整備
- 2 緑ヶ丘の有効活用
- 3 「三原すくすく」の拠点の拡大
- 4 ベビーボックスの開発

このような取組は、これからの三原市を支えるために非常に重要です。

三原には、三原高校よりも他地域の進学校に進学しようとする傾向が強いように思われます。三原高校も魅力ある学校づくりを進め、ある程度成果はあげています。

三原高校の使命

- 1 三原の進学校であれ
- 2 三原の体育、文化の中心であれ
- 3 世界を作る人材を輩出せよ
- 4 三原愛を育てよ

しかし、三原から出て行く生徒が後を絶ちません。そこには、昔の総合選抜制が深くかかわっていると私は考えています。三原の高校で三原の高校生に今「三原愛」を育てなければ、三原は、今後支えを失ってしまいます。そして、三原の落ち込みに拍車がかかり、30年後、50年後には三原が悲惨な状態になっていないとも限りません。どうか三原の子供が三原の高校へ進学するように、皆様のお力添えをお願いいたします。

22世紀への架け橋となる教育

今の高校生は22世紀には活躍していません。彼らの次の世代が22世紀を作って行きます。だから今の高校生は、22世紀を作る人たちを作る人たち、言わば「22世紀への架け橋となる人たち」なのだと私は考えます。

三原高校の使命

今の子供たちは

22世紀を作る人たちを **作る人たち**

22世紀への架け橋になる人たち

国家百年の計は教育にあり

このことをしっかりと視野に入れ、彼らの教育に尽力してまいります。三原の皆様と一緒に、次世代を担う若者を育てます。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。ご清聴ありがとうございました。